

事務事業名 ちくしの文化講座事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：656

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-03-534
基本事業：	01	ニーズに応じた学習機会の充実	担当部	教育部
基本事業の成果指標	生涯学習講座の充足度 市公式ホームページ（生涯学習情報ページ）アクセス件数 生涯学習情報（市広報紙）利用割合		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画			
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）							
市民（小学生以上）			参加者から受講料を徴収し、生涯学習のきっかけづくりとして、カルチャー講座事業を生涯学習センターを中心に開催している。 【1day(1日体験)講座】料理、手芸・工芸、暮らし・実用等 【パソコン講座】Word・Excel等の実務講座、スマホ・タブレットの活用講座等 【歴史講座】 【人材育成講座】日本語教室ボランティア入門講座							
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			市民の学習ニーズに応じた学習の機会が提供され、市民の学習活動、特に、生涯学習のきっかけづくりとして行うこと。							
4. 成果（簡易評価は未記入）										
成果指標名称		単位	03年度 実績	04年度 実績	05年度 当初	06年度 要求	07年度 計画	08年度 計画	目標	
受講者数		人	370	453	850	850			1,000	
受講者延べ人数		人	578	478	3,000	3,000			3,000	
5. コスト										
事業費		計	千円	671	918	749	1,800			
		国	千円	0	0	0	0			
		県	千円	0	0	0	0			
		地方債	千円	0	0	0	0			
		その他	千円	666	470	435	867			
一般	千円	5	448	314	933					
正職員人工数		人工	0.2	0.2	0.2					
正職員人件費		千円	1,584	1,546	1,563					
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	2,255	2,464	2,312	1,800				
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）										
あがっている どちらかといえばあがっている あがっていない（停滞・低下）		令和3年度から定期講座を、令和4年度から短期講座を廃止したため、受講者数が減少した。令和3年度に引き続き令和4年度も人材育成講座として、日本語教室ボランティア入門講座を実施し、多くの人の受講とその後の日本語教室の見学につながった。								
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）										
対象動向	維持	類似事業	あり	生涯学習推進のため、「学びのきっかけ」を多くの市民に提供している。令和3年度より定期講座を、令和4年度より短期講座を閉講したが、自主学習グループに移行することで学びが継続されている。						
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり							
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし							
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり							
成果向上余地	大きい									
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）						改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）										
令和4年度までに短期・定期講座を見直すなど、より参加しやすい講座スタイルを検討、ニーズに合った講座の計画を行っている。 また、パソコン・スマホ講座の数を増やし、市民のデジタルディバイド解消に努める。					令和5年度のパソコン・スマホ講座については、別事業の「デジタルリテラシー向上事業」で国の補助を活用して実施する。					
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）						備考・特記事項 or 進行管理欄				
生涯学習センター開館にあわせ、高度化・多様化する市民の学習ニーズに応じた学習機会を提供している。										